



事業計画及び 成長可能性に関する説明資料

株式会社 **W** TOKYO（証券コード：9159）

2026年9月

Contents

1

会社概要

2

ビジネスモデル

3

市場環境

4

競争力の源泉

5

事業計画

6

リスク情報

株式会社W TOKYO

設立日	2015年7月1日
本社所在地	東京都渋谷区神宮前5-28-5
事業内容	TOKYO GIRLS COLLECTIONのブランドを活用した、 ブランディング・コンテンツプロデュース事業
人員数	従業員 60名 (2026年6月末時点。アルバイトを除く)
経営陣	代表取締役 村上 範義 取締役COO 青木 充 社外取締役 井上 北斗 社外常勤監査役 木村 泰士 社外監査役 並木 安生 社外監査役 原口 侑子
拠点	東京本社 Esprit Beauty by TGC 南青山店

代表取締役
村上 範義

第1回東京ガールズコレクションの立ち上げから関与。
2012年、TGCチーフプロデューサーに就任し、
キャスティング・協賛営業・メディアリレーションの
すべてを統括。
2014年に当社の前身であるF1メディアの代表取締役に
就任後、2016年に当社代表取締役に就任。
YOAKE entertainmentの取締役を兼任。

「日本のガールズカルチャーを世界へ」をテーマに2005年8月から年2回、通算43回開催。モデル、タレント、アーティスト、動画クリエイター等のトップインフルエンサーが一堂に会する史上最大級のファッションフェスタ。多種多様なパートナーとのコラボレーションによりファッションショーの枠組みを超え“ラボラトリー”機能を担うブランディングプラットフォームへと発展。

その発信力を活かし、国際連合、政府、官公庁、地方自治体と連携し、SDGs推進・地方創生など、変わり続ける社会課題を若年層へ伝える架け橋としての役割を担う。

**TOKYO
GIRLS
COLLECTION**
by Girlswalker



日本最大級の熱狂を、社会を動かす文化のインフラへ

2026年8月20日に公表いたしました通り、当社は2027年1月1日に、
商号を「株式会社W TOKYO」から「株式会社TGC IP Group」へ変更いたします。

2005年に生まれたTOKYO GIRLS COLLECTION (TGC) は
今では世界的なブランドIP（知的財産）に育ち、TGCを中心とした独自の経済圏を確立しています。

今後の当社は、TGCが持つ求心力を核にして、
事業領域の拡大を行う「IPプラットフォーム企業」へと進化します。
ヒト・モノ・コト・地域など世の中に存在するさまざまなIPを結びつけることで、
「共創」により互いの価値を高め合い、持続的な事業成長と文化経済圏の創出を目指してまいります。

新商号

株式会社TGC IP Group

変更予定日 2027年1月1日

TGCブランド価値の
一層の向上

世界の多様なIPを接続した
共創プラットフォームの構築

あらゆるIPの価値を
最大化するための成長支援

W TOKYOが築いてきたIPプラットフォームとしてのポテンシャル

TGCで培ったプロデュースノウハウとネットワークで、
日本と世界のあらゆるIPの価値を最大化「地域」の
プロデュース機会を提供

TGC地方開催/シティプロモーション

「世界」のIPの
プロデュース機会を提供

TGC海外開催

日本を代表するヒト・モノ・コトとファンダムが集まる **非日常**のプラットフォームを形成

1. TGCプロデュース領域

協賛企業・広告主、
アパレルブランド、
地方自治体・官公庁

来場者

制作会社、
インフルエンサー

TGC東京開催・TGC地方開催、
シティプロモーション、
その他プロモーション受託等、
発信力を強みとする領域

TGCの発信力・企画力を活用
したプロモーション、
地方創生機会の提供

協賛金、制作費、
ブランド出展料、
開催に伴う対価を収入

チケット
代金を収入

イベントの制作、
インフルエンサーの出演

舞台製作費、運営費、
キャスティング費の
支払い

W TOKYO

TOKYO
GIRLS
COLLECTION
by Girlswalker

2. コンテンツプロデュース・
ブランディング領域

TGCブランドを活かしたロイヤリティビジネスや
プロデュースノウハウを活かした**新たな価値創造**領域

TGCブランド及びW TOKYOの企画力を
活用してモノ・コトを収益化

金融
食品

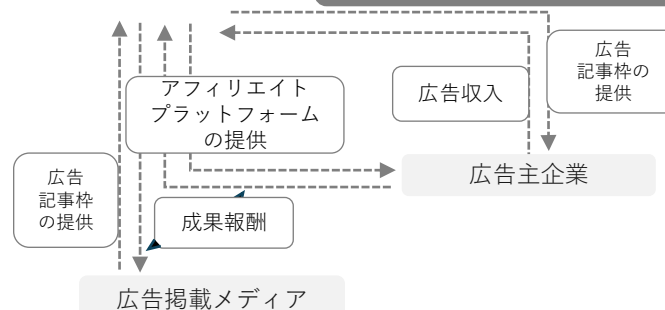
コスメ
アパレル
など

ブランドロイヤリティ、
キャスティング費、
クリエイティブ制作費等を収入

3. デジタル広告領域

アフィリエイト広告（ASPとしての手数料収入）、
TGC公式メディア運営等の領域

デジタル広告領域
27百万円（0.6%）



コンテンツプロデュース・
ブランディング領域
906百万円（20.7%）

26/6期売上高
4,375百万円

TGCプロデュース領域
3,443百万円（78.7%）

注：本領域に係る費用としては、プロデュースされる商材の種別やプロモーション内容に応じて、
当社はキャスティング費、クリエイティブ制作費、商品原価等を負担。

注：本領域に係る費用としては、当社は広告掲載メディアに対して支払う成果報酬を負担。
ただし、アフィリエイトサービスについて、会計上は代理人取引として手数料相当額を純額で売上高として計上。

**TOKYO
GIRLS
COLLECTION**
by Girlswalker



IPビジネス市場規模*
(2022年)

約 **137.8** 兆円



インターネット広告市場規模**
(2025年)

約 **4.4** 兆円

ライブ・エンタテインメント市場規模***
(2025年)

約 **8,564** 億円

TGCプロデュース領域
#TOKYO GIRLS COLLECTION
#TGC地方開催

リアル・SNSともに強みを持つTGCは
ライブ・エンタテインメント市場、
インターネット広告市場と親和性が高い

TGCプロデュース領域
#TGC地方開催
#シティプロモーション

全国1,700以上の自治体が抱える社会課題と
青年層の架け橋となり、地方創生に貢献
・都心と地方の体験格差の是正
・地域の魅力や財産をコンテンツ化し発信

TGCプロデュース領域
#TGC海外開催

アジアをはじめとする海外での展開を通じ、
ジャパンカルチャーの輸出をサポート

**コンテンツプロデュース・
ブランディング領域**
#TGC × ∞
#トップタレントキャスティング

TGCのブランド力やノウハウ、ネットワー
クを駆使したあらゆるヒト・モノ・コトの
ブランディングの実施は広告やブランド
ロイヤリティを創出

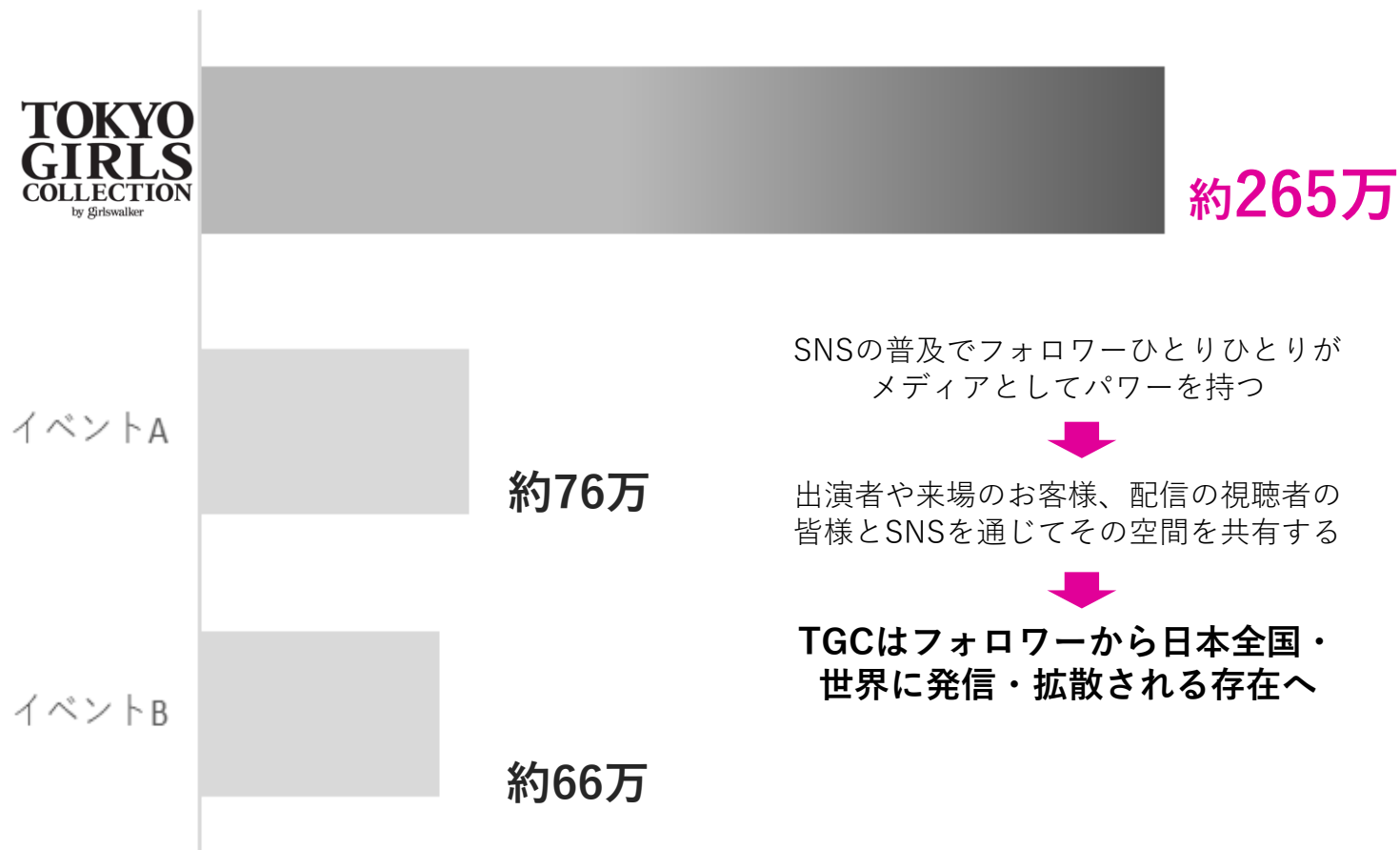
出所：

*経済産業省が2025年6月に発表した『エンタメ・クリエイティブ産業戦略～コンテンツ産業の海外売上高20兆円に向けた5ヵ年アクションプラン～』における世界コンテンツIPの市場規模135兆円と
三菱UFJリサーチ&コンサルティングが2025年12月に発表した『国内クリエイターエコノミーに関する調査結果（2025年）』における国内クリエイターIPの市場規模2.8兆円の合算値を採用

**株式会社電通が2026年3月5日に発表した『2025年 日本の広告費』

***ぴあ総研が2026年6月17日に発表したライブ・エンタテインメント市場動向の調査結果

■主要ファッションフェスタのSNS等メディアでのフォロワー数*



■TGCの比較優位性

メディアフリー・独立運営

- 特定のメディアや企業グループに属さない
全方位型の運営

発信プラットフォーム

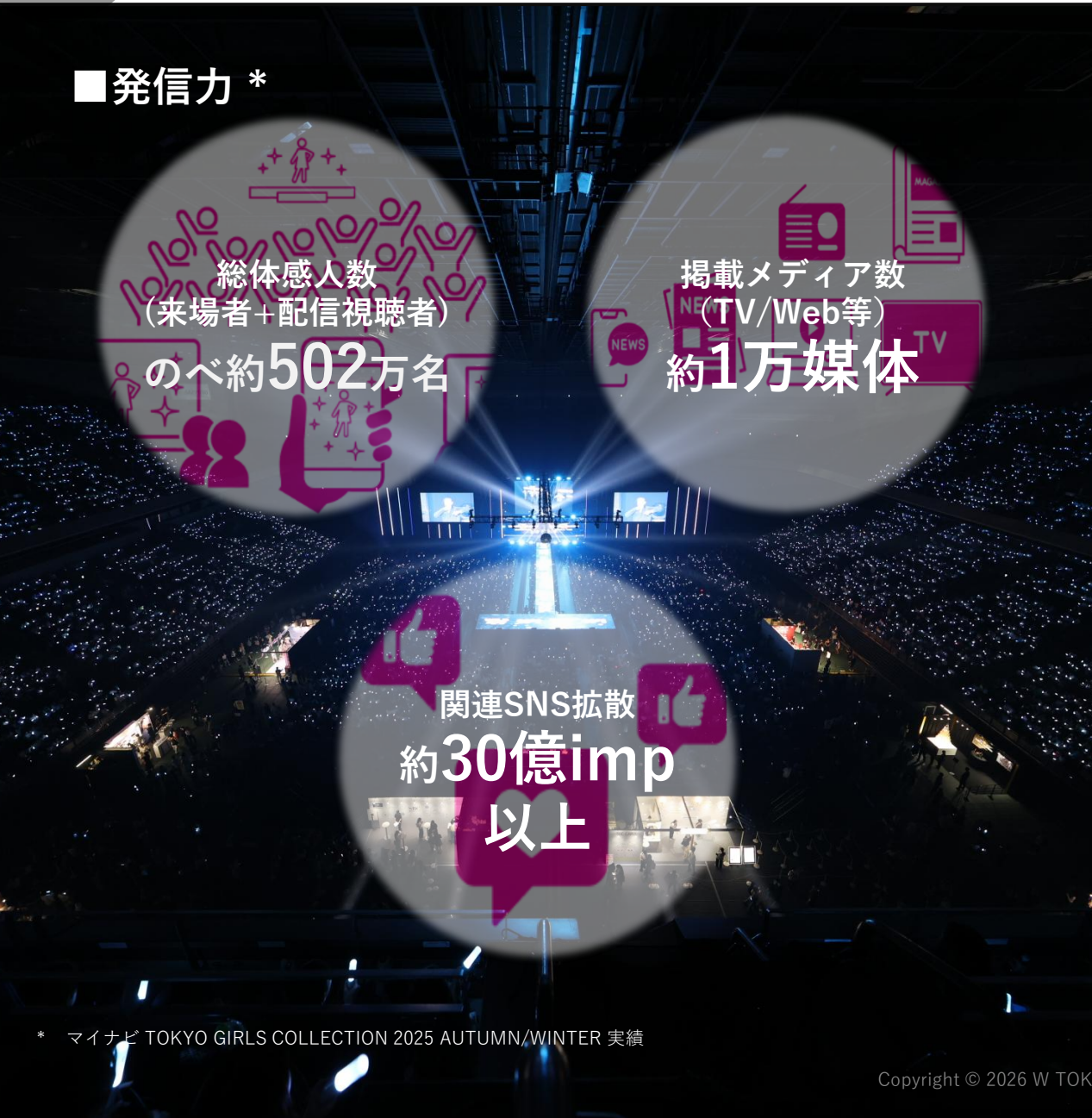
- 特定事業の販促等を目的とした事業の一部ではなく発信プラットフォームとしての開催
- フォロワーを通じて発信・拡散される

フォーマット化されたビジネスモデル

- 確立されたブランド、ノウハウがあり
他の事業・地域へ横展開が可能

* LINE、X、Instagram、Threads、TikTok、YouTubeにおけるフォロワー数・登録者数合計（2026年9月4日時点）。

■発信力 *



■競争原理と自浄作用



開催が終わればすべてリセットし
次の開催に向けて“旬”を集めて組み立てる

破壊と創造を繰り返す自浄作用と、
時代の象徴としてTGCに出たい競争原理がはたらき、
ランウェイは輝き続ける

TOKYO GIRLS COLLECTION・地方創生プロジェクト - 2026年6月期における主な実績



TGCプロデュース領域
#TOKYO GIRLS COLLECTION

◀TGC 2025 A/W

TGC 2026 S/S▶



TGCプロデュース領域 #TGC地方開催 #シティプロモーション

#TGC地方開催

地域の魅力や財産をコンテンツ化して
発信し、ショーやライブ等とともに
体験価値を提供

⇒2026/6月期は**4都市で開催**

#シティプロモーション

TGCのプロデュース力を活かし、
開催場所や形態にこだわらず地域の
魅力や財産をオンリーワンの形で発信



TGC 北九州 2025



TGC 広島 2025



TGC しずおか 2026



■ 東京都江戸川区

- EDOGAWA ストリートダンスチャレンジ
- INTERNATIONAL SDGs FES in EDOGAWA 2025
- さわやか体育祭

■ 愛知県蒲郡市

- GAMA LOVE FES「MIKAWA PALETTE produced by TGC STAGE」

■ 愛知県一宮市

- BISHU FES.×TGC「新規デザイナー発掘プロジェクト」

■ 福井県鯖江市

- さばえアクション∞”コレクション produced by TGC

TGCプロデュース領域 #TGC海外開催

Kao presents
TGC JAKARTA 2025



©Kao presents TGC Jakarta 2025

三井物産×CT Corp（インドネシア財閥）との協業
日本のアイドル・アニメ文化を発信
2日間で約7,500名来場

Kao presents TGC Jakarta 2025

2025年7月5日（土）～6日（日）：Plenary Hall, Jakarta Convention Center

ACECOOK presents
TOKYO GIRLS COLLECTION in VIETNAM



©Acecook presents TOKYO GIRLS COLLECTION in VIETNAM 2026



双日株式会社、東南アジア最大級のデジタルエンターテインメント企業POPSとの三社協業

Acecook presents TOKYO GIRLS COLLECTION in VIETNAM 2026

2026年3月28日（土）～29日（日）：
ベトナム・ホーチミン市Van Phuc City



Sumitomo Corporation presents
TGC in Thailand 2026



©Sumitomo Corporation presents TGC in Thailand 2026

タイを代表する財閥Saha Group、住友商事とともに
『TGC in Thailand』プロジェクト始動

Sumitomo Corporation presents TGC in Thailand 2026

2026年6月25日（木）～28日（日）：タイ・バンコク

■損益計算書

	2023/6期 (2022/7-2023/6)	2024/6期 (2023/7-2024/6)	2025/6期 (2024/7-2025/6)	2026/6期 (2025/7-2026/6)	2026/6期 期初業績予想	着地
(単位：百万円)						
売上高	3,616	3,957	3,925	4,375	4,051	108.0%
売上総利益	1,588	1,516	1,380	1,477	-	-
売上総利益率	40.1%	38.3%	35.2%	33.8%		
販売費及び一般管理費	942	1,008	1,028	1,079	-	-
営業利益	645	508	351	398	520	76.5%
営業利益率	17.8%	12.8%	9.0%	9.1%	12.9%	
経常利益	620	496	341	394	517	76.2%
経常利益率	17.2%	12.5%	8.7%	9.0%	12.8%	
当期純利益	406	327	173	251	333	75.5%
当期純利益率	11.2%	8.3%	4.4%	5.8%	8.2%	
(参考)						
調整後営業利益*	809	671	515	561		
調整後営業利益率	22.4%	17.0%	13.1%	12.8%		
調整後当期純利益*	542	463	308	387		
調整後当期純利益率	15.0%	11.7%	7.9%	8.9%		

■業績予想と実績の差異

- TGC 2026 S/SとTGC in あいち・なごや 2026、大型広告契約の受注が売上高増加に寄与
- 売上規模の大きい重点案件の遂行に伴い原価が増加したこと、制作原価の上昇トレンドが続いていることから各段階利益は業績予想に未達

* 調整後営業利益 = 営業利益 + のれん償却額 + 商標権償却額
* 調整後当期純利益 = 税引前当期純利益 + のれん償却額 + 商標権償却額 - 想定税金費用

■貸借対照表

- ・自己資本比率は前期末比で低下するも引き続き高い財務健全性を維持
- ・堅実な財務体質を保ちながら成長投資のために積極的に現預金を振り向けていく

自己資本比率

70.0%

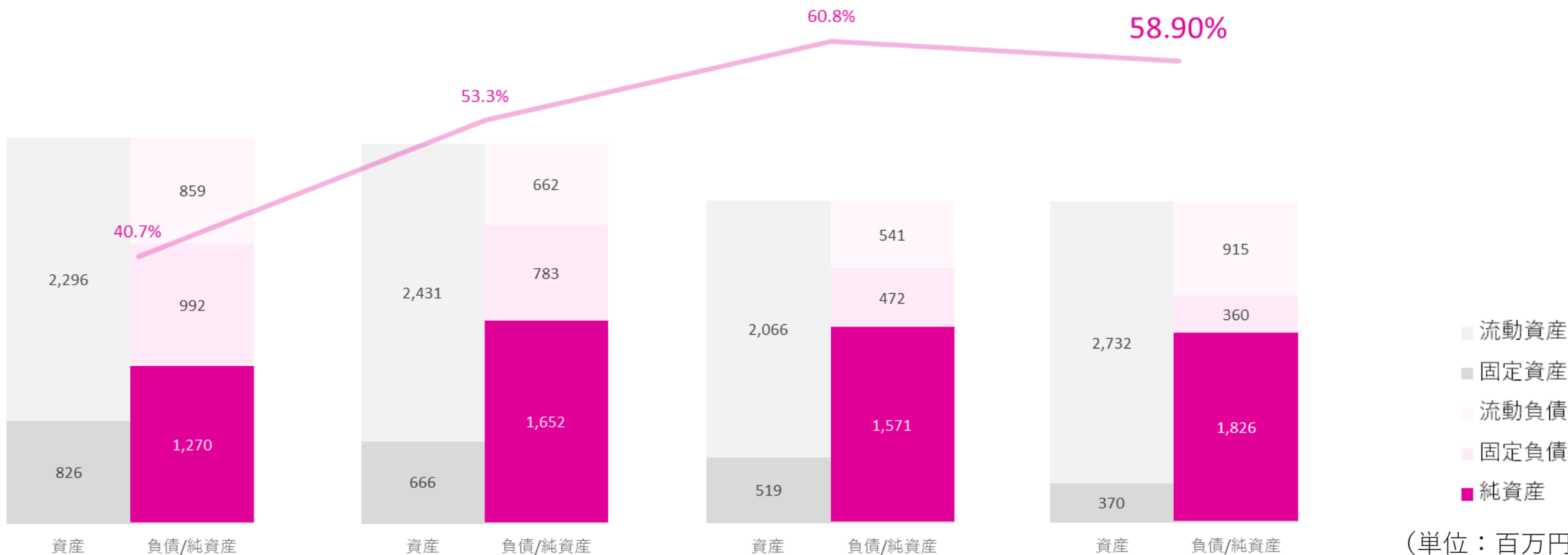
60.0%

50.0%

40.0%

30.0%

20.0%



2023/6期

2024/6期

2025/6期

2026/6期

■成長戦略の中における現在地

- ✓ 地方自治体との継続的なコミュニケーションにより、2027年6月期中及びそれ以降の地方創生プロジェクトの企画立案進行中（地方開催・その他のシティプロモーション等手法は様々）
- ✓ TGC及びその他のIPの価値向上による収益構造の多層化を目指す
- ✓ ジャカルタ・ベトナムに続き、海外の他の地域でも開催の企画進行中
- ✓ 持続的に収益を生むB to C事業として、2025年12月に美容サロン Esprit Beauty by TGCを開業

■アップサイド

- ・ B to C事業
- ・ M&A

■Web3.0等

- ・ YOAKE entertainment 出資

■TGC × ∞

- ・ 自社ブランドラインナップ増加
- ・ ロイヤリティビジネス
- ・ 海外展開

ブランドビジネス

地方創生プロジェクト

■1,700超の地方自治体に社会課題解決の価値提供

- ・ TGC地方開催
- ・ シティプロモーション

■TOKYO GIRLS COLLECTIONの更なる発展

東京の地で、ブランドを構築しながら利益を生み出す
唯一無二のプラットフォーム

2026年6月期の主な進捗

今後の見通し

TOKYO GIRLS COLLECTION by girlswalker	TGC東京開催	• TGC 2025 A/W(2025年9月)とTGC 2026 S/S(2026年3月)を計画通り開催	• TGC 2026 A/W(2026年9月)とTGC 2027 S/Sを開催予定
	TGC地方開催	• 北九州、広島、静岡、名古屋の4都市で開催	• 公表済/実施済みのみで新潟、松山、北九州、富山の4都市での開催
	シティ プロモーション	• 東京都江戸川区、愛知県蒲郡市、愛知県一宮市、福井県鯖江市等との案件が進行	• 山梨県甲府市×福井県鯖江市の連携、江戸川区との継続的な取組等、進行
地方創生 プロジェクト	海外展開	• インドネシア、ベトナムの2カ国で開催。 • タイ開催に向けたプロジェクトを始動	• タイでの開催に向けて推進 • その他国の企画も進行中
	自社ブランド等	• キッズ特化型エンタメスクール「TGC KIDS CLUB」を開校	• 「TGC STARS」等、親和性のある領域でのブランドの拡充を検討
ブランド ビジネス	Web3.0/ 暗号資産	• 出資先YOAKE entertainmentにて、IDOL RUNWAY COLLECTION 公式アプリ「IRC APP」をリリース	• IDOL RUNWAY COLLECTION 2026 A/W(2026年9月)を開催予定 • 市況に鑑み現時点で暗号資産保有予定なし
	B to C	• 美容サロン Esprit Beauty by TGC 南青山店を開業(2025年12月)	• 既存店舗の安定収益化に向けたプロモーション・投資を継続
	M&A	• 当社によるM&Aの実行はなし	• 最適なM&Aの実行に向けた情報収集を継続
その他			

(単位：百万円)	2026/6期 通期実績	2027/6期 通期業績予想	対前期	
売上高	4,375	4,009	▲ 366	▲8.4%
営業利益	398	410	11	3.0%
営業利益率	9.1%	10.2%		
経常利益	394	407	13	3.3%
経常利益率	9.0%	10.2%		
当期純利益	251	268	17	6.8%
当期純利益率	5.8%	6.7%		
(参考)				
調整後営業利益*	561	573	11	2.1%
調整後営業利益率	12.8%	14.3%		
調整後当期純利益*	387	343	▲ 44	▲11.5%
調整後当期純利益率	8.9%	8.6%		

* 調整後営業利益＝営業利益＋のれん償却額＋商標権償却額

* 調整後当期純利益＝税引前当期純利益＋のれん償却額＋商標権償却額－想定税金費用

■業績予想の主な前提

科目	内容
売上高	・TGC東京開催・TGC地方開催・シティプロモーションの開催確定分について、確定受注額又は受注見込に基づき積上げ ・2026年6月期は単発の大型広告制作案件の受注により売上が増加。 2027年6月期は期初時点でスポット的な案件は織り込まない
売上原価	・TGC及びその他広告制作の原価率は上昇傾向にあるため、直近のコスト水準に基づき計算 ・TGCプロデュース領域のプロジェクトに対して選択と集中を進め、低利益率案件の縮小、 高利益率案件へのシフト
販売費及び一般管理費	・従業員の増加により人件費は継続的に増加 ・業務委託費その他諸経費等は26/6期と同水準見込み ・のれんの償却（償却費 6百万円/月）は2026年8月で終了

■取り組むべき課題

- ✓ 適切なリソース配分を実現するため、利益率を重視した**選択と集中**（高付加価値体質への転換を加速）
- ✓ 地方自治体との連携強化やニーズの適切な把握により、**イベントの開催にとどまらない地方創生プロジェクト**の拡大
- ✓ 単発の売上以外に継続的かつ持続可能な売上を生み出す収益モデルの開発及び営業機能の強化（戦略的な人的資本の投資を含む）するためのプロデュースノウハウの蓄積
- ✓ 事業提携やM&Aを含む中長期的な成長戦略の実行

1Q

2Q

3Q

4Q

TGC東京開催

TGC 2026 A/W

TGC地方開催 **

TGC 新潟 2026

TGC 松山 2026

TGC 北九州 2026

TGC 富山 2026

TGC 2027 S/S

TGC しずおか 2027

** 本資料発表までに公表している案件のみ掲載

リスクの内容	発生可能性	影響度	対応策
ブランド - TOKYO GIRLS COLLECTIONのブランド価値維持・向上のための継続的な投資が、不測の事態により適切なタイミングで行えないことで、ブランド価値が低下し業績に影響を及ぼすリスク - TOKYO GIRLS COLLECTIONや当社グループに関する風評が拡散され、ブランド価値や社会的な信用が損なわれることで、業績に影響を及ぼすリスク - 特にTOKYO GIRLS COLLECTIONの商標権等の知的財産権が第三者に侵害されたり、商標権を取得していない国や地域で無許可のイベントが開催されたりすることで、ブランドイメージが低下し、業績に影響を及ぼすリスク	中	中	今後も最先端のテクノロジーや最旬のトレンドを取り入れたキャスティング・コンテンツプロデュース・ステージ演出・メディア連携等により、ブランド価値の向上に努めてまいります。 SNS・インターネット検索により風評被害や知的財産権の侵害等の発生有無の調査を継続的に行い、権利保全・権利侵害防止に努めております。
業務・資本提携等 他社との業務提携や資本提携において、当初見込んだ効果が得られず、事業展開や業績に影響を及ぼすリスク	中	中	提携にあたっては事前に他社の強みを理解し、提携の効果について十分な検討を行ったうえで、当社グループと提携先の持つ経営資源を融合することにより、事業シナジーを発揮することを目指します。

免責事項

- 本資料は、当社の事業や業績に関する情報提供のみを目的として当社が作成したものであり、当社の株式その他の有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料には、当社の見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって作成しています。
- 将来予想に関する記述は、経済情勢や景気動向、その他の様々なリスクや不確定要素の影響を受け、結果として、将来の実際の経営成績等が本資料に記載された内容と異なる可能性があることにご留意ください。
- 次回の「事業計画及び成長可能性に関する事項」の開示時期は、2027年9月を予定しております。

W TOKYO

2027.1.1

TGC IP Group